

危機管理課

○ 防災関係

1 災害対策本部の設置

伊勢市地域防災計画に基づき、災害の防止・軽減・応急対策を迅速に実施するため、災害対策本部を設置した。

(1) 本部設置回数 4回

設置年月日	注意報・警報名
26. 4. 30	大雨警報
26. 8. 9～ 8. 10	大雨特別警報、洪水・暴風警報
26. 10. 5～10. 6	大雨・洪水・暴風警報
26. 10. 13～10. 14	大雨・暴風警報

(2) 被害状況（非住家を除く）

年 月 日		26. 8. 9 ～ 8. 10
家屋	全 壊	—
	大規模半壊	—
	半 壊	—
	床上浸水	—
	床下浸水	—
	一部破損	—
	一部被害	2

2 災害時要援護者宅家具固定事業

過去に発生した大規模な災害では、住宅内の家具の転倒により多くの死傷者が発生した。その中でも、高齢者、障がい者などの災害時要援護者の方が被災されるケースが多数見受けられたため、要援護者を対象に家具固定事業を実施した。

ア 件 数 28件

イ 申込期間 第1回 平成26年9月1日～19日

第2回 平成26年12月1日～26日

ウ 実施日 第1回 平成26年10月26日、11月9日

第2回 平成27年2月22日

3 地域防災力向上支援事業

(1) 地域防災マップ作成事業

地域住民が「わがまち」を認識し、災害に強いまちづくりを行うことを目的として、地域住民主体のタウンウォッチングを行い、避難経路等の意識共有を行うとともに、それらの情報を記載した防災マップを作成した。

・作成実績 宇治館町、宇治今在家町、宇治中之切町

(2) 防災講習・防災訓練の実施

南海トラフ地震等の大規模地震の発生が危惧されている中、地域における防災の取組みを促進するため、自治会や自主防災組織及び小中学校等からの要請に応じ、防災講習や防災訓練を実施した。

- ア 実施回数 155回
- イ 参加人数 12,191名
- ウ 実施内容
 - ・ 緊急時の行動や家庭内での防災対策の説明
 - ・ 園児、児童、生徒等への防災教育
 - ・ 三重県防災啓発車による地震体験
 - ・ 災害時の避難行動訓練

(3) 研修会の実施

南海トラフ地震に対応する効率のよい災害対策本部体制の検証を行うことを目的として、市長、副市長、所属長を対象に研修会、図上訓練を実施した。

- ア 実施年月日 平成26年10月10日（金）
- イ 参加人数 91名（市長、副市長、所属長）
- ウ 研修内容
 - 内容 目標管理型災害対応のあり方
 - 講師 人と防災みらいセンター 研究主幹 近藤 伸也 氏

(4) 自主防災隊リーダー研修会の開催

地域の自主防災組織の活動に不可欠である中心的役割を担うリーダーの育成を図るため研修会を開催した。

- ア 実施年月日 平成26年5月31日（土）
- イ 参加人数 96名
- ウ 研修内容
 - 内容 「セルフウェザーゲーム（災害ゲーム）」
 - 監修 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 矢守 克也 氏

4 伊勢市防災会議の開催

災害対策基本法の規定に基づき、伊勢市地域防災計画の修正等を行うため、伊勢市防災会議を開催した。

- ア 開催年月日 平成27年2月5日（木）
- イ 内 容
 - 議事 地域防災計画の大規模改訂について
 - 平成26年度の地域防災計画修正について
 - 報告 避難判断マニュアルの情報共有について
 - 平成26年度の事業成果について
 - 非常時の参集について
 - その他 土砂災害警戒区域等指定の進捗状況について
 - 氾濫危険水位の位置づけの見直しと今後のスケジュール

5 災害用民間井戸登録の普及

災害時における生活用水の確保と市民の防災意識の向上を図るため、災害用井戸の登録を募集し、水質検査を実施し、16件を登録、総数が186件となった。

6 災害用物資、資機材の整備及び機械器具の購入

伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料等を購入し、物資及び資機材の整備を図った。

種類	品目	備蓄目標	購入品目・数量		備蓄総量
食料	ビスケット	72,300食	ビスケット	7,800食	74,372食
	アルファ米		アルファ米	10,900食	
	アルファ米 (アレルギー対応)		アルファ米 (アレルギー対応)		
	アルファ米(お粥)		保存用パン	240食	
飲料水	ペットボトル	72,300 ^{リットル}	—	—	72,351 ^{リットル}
衣料品	毛布	16,200枚	—	—	16,423枚
災害救助物資	折り畳み式リヤカー	35台	—	—	35台
ブルーシート	ブルーシート	5,500枚	—	—	3,176枚
生活必需品	救急箱	35箱	—	—	68箱
	おむつ	200袋	—	—	621袋
	生理用品	500袋	—	—	1,832袋
	仮設トイレ	35基	—	—	177基
その他			簡易トイレ	21,560回分	84,260回分

7 海拔表示シールの設置

津波避難時の目安や通常時における津波避難に関する意識を高めるため、自治会の協力を得て、海拔表示シールを設置した。

- ・設置枚数 871枚

8 災害協定の締結

災害発生時に迅速な応急対策を行うため、民間事業所等と災害時の応援協定を締結した。

締結先	締結年月日	協定の名称
太江寺	26. 6. 6	津波発生時における津波緊急避難所としての使用に関する協定
介護保険サービス事業者61団体	26. 7. 18	災害時等における避難所等要援護者の応急措置等に関する協定
三重県伊勢LPガス協議会 一般社団法人三重県LPガス協会	26. 7. 30	災害時におけるLPガス等の調達に関する協定 防災拠点災害対応機器備蓄に関する覚書
岐阜県中津川市	26. 9. 3	伊勢市・中津川市災害時相互応援協定
伊勢鳥羽志摩地区警備業協議会	26. 11. 5	災害時における交通及び地域安全の確保等に関する協定
民間マンション所有者	26. 11. 10	津波発生時における津波緊急避難所としての使用に関する協定

三重県行政書士会	26. 11. 11	災害時における協力に関する協定
伊勢警察署	27. 2. 6	災害時における伊勢市行政財産の一時使用に関する覚書
株式会社 バイテック	27. 3. 11	災害時の電力供給に関する覚書

(注)平成26年度末の協定締結数 83件

9 防災行政無線屋外拡声子局の整備

災害発生時に市民の生命・財産の安全確保を図り、応急対策、災害復旧・復興に関する業務を遂行するため、難聴地区を対象に屋外拡声子局設備を増設した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
伊勢市内	(注) 防災行政無線屋外拡声子局整備工事	防災行政無線屋外拡声子局一式	円 19,141,920	26. 11. 7	27. 3. 23

(注)維持課施行

10 防災行政無線戸別受信機設置工事

避難所等に防災行政無線戸別受信機を整備することにより、緊急時、災害時における住民への適切な情報伝達体制の確立を図り、住民の生命と財産の安全を確保するために設置した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋地内ほか	(注)(注1) 防災行政無線戸別受信機設置工事	防災行政無線戸別受信機一式	円 7,530,840	26. 3. 20	26. 9. 10

(注)平成25年度から繰越

(注1)維持課施行

11 自主防災補助事業

伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、次のとおり補助金及び助成金を交付した。

- (1) 自主防災組織結成数 125隊
- (2) 訓練助成金 82件 2,460,000円
- (3) 防災補助金 113件 12,917,000円
 - ア 自治会 33件 1,363,000円
 - イ 自主防災組織 80件 11,554,000円

12 避難対策事業

(1) 伊勢市地域防災計画等改訂業務委託

既存の地域防災計画を見やすくスリム化する「整理」と地域防災計画及び災害時マニュアルを実行性のあるものにする「改訂」に着手した。(平成25年度～平成26年度の2か年事業)

- ・地域防災計画の大幅な内容の見直し・充実
- ・BCP(業務継続計画)の作成
- ・災害対応手順のフローチャート化

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	(注1) 契約終了
伊勢市内 地	(注2) 伊勢市地域防災計画等改訂業務委託	地域防災計画の大幅な内容の見直し・充実 BCP（業務継続計画）の作成 災害対応手順のフローチャート化	円 9,655,200	25.11.8	27.3.13

(注1) 契約の相手方から、業務を継続することが不可能との申し出があったため、契約を解除した。なお、未完了の業務は平成27年度へ繰り越して実施する予定。

(注2) 平成25年度から一部繰越

(2) 伊勢市ハザードマップの増刷

防災講習会資料及び転入者への配布分として、伊勢市ハザードマップを増刷した。

施行場所	件名	概要	金額	着手	完了
伊勢市内 地	伊勢市ハザードマップ印刷	ハザードマップの増刷(1,000部)	円 203,040	27.3.11	27.3.31

(3) 津波避難訓練の実施

大湊・神社・御園地区において、津波避難訓練を実施した。

- ・開催年月日 平成26年11月29日（土）
- ・参加者数 3,211名

13 伊勢市津波対策事業検討業務委託

平成26年に三重県地震被害想定調査結果が公表されたことから、平成24年公表の津波浸水予測との比較検討を行った。

所属	施行場所	工事名	工事概要	金額
防災施設整備課	伊勢市内 地	伊勢市津波対策事業検討業務委託	津波対策事業検討一式	円 7,307,280

○ 防犯関係

1 伊勢市防犯推進協議会の活動

「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、事業計画を策定し、市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、より安全で安心できる市民生活の確保に努めた。

(1) 地域安全講習会の開催

平成26年4月8日から平成27年3月12日の間に、33回開催し、748名の受講者があった（対象は、自治会・老人会等）。

- 内 容
- ・防犯DVDによる啓発（振り込め詐欺、悪徳商法など）
 - ・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員による管内の犯罪等の発生状況について
 - ・防犯アドバイザーから地域の防犯対策について
 - ・チラシ、その他啓発用品等を配布し、啓発に努めた。

(2) 街頭啓発活動の実施

平成26年4月15日から平成27年3月13日の間に、振り込め詐欺及び街頭犯罪被害防止啓発活動を12回実施した。

内 容 ・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員とチラシ、その他啓発用品等を配布し、啓発に努めた。

(3) 防犯情報による啓発

伊勢警察署や市内の学校から寄せられた不審者情報や振り込め詐欺情報、犯罪発生情報の「防犯情報」を、防犯メール登録者に配信するとともに、啓発に努めた。配信回数44回。

(4) 防犯モデル地区の指定

地域住民が防犯に対する理解と認識を深め、連帯意識を高めて、自主的な地域安全活動を推進できるようモデル地区を指定し、自主的な防犯活動の支援を行った。

指定地区 辻久留台自治会、神久連合町内会 指定期間 平成25年度から平成26年度
指定地区 川端町自治会、光の街区自治会 指定期間 平成26年度から平成27年度

(5) 「伊勢市自主防犯団体連絡会総会」の開催

各自主防犯団体間の連携を強化し、さらなる資質の向上と防犯活動の活性化をさせるため、「伊勢市自主防犯団体連絡会」の総会を開催し、年間事業計画を策定した。

開催日 平成26年4月30日（水）
開催場所 伊勢市ハートプラザみその

(6) 「伊勢市自主防犯団体連絡会講演会」の開催

住民のみなさんに防犯意識を高めていただき、地域ぐるみで防犯活動に取り組むことで、より安全で安心なまちをめざすための講演会を開催した。

開催日 平成26年4月30日（水）
開催場所 伊勢市ハートプラザみその
講師 地域安全すみれ会会長 山崎幸枝 氏（四日市市）
演 題 みんなで防犯 私たちにできること
参加者 約140名

(7) 全国地域安全運動における「安全安心まちづくり訪問型防犯診断および防犯研修会」の開催

伊勢警察署が主催で、伊勢度会地区生活安全協会・伊勢市・伊勢市自主防犯団体連絡会が共催し、基調講演を開催した。

開催日 平成26年10月14日（火）
開催場所 伊勢市ハートプラザみその
講師 伊勢警察署 生活安全課長 沼田英雄 氏
三重県防犯設備協会 総合防犯設備士 藤村喜成 氏
演 題 安全・安心まちづくり・我が家の安全対策
参加者 約200名

(8) 危険箇所等の情報提供及び対応

自治会を通じて調査した、「防犯上の危険箇所」及び「犯罪誘発箇所」の結果を警察や教育委員会にも情報提供し、パトロール活動や注意喚起を要請した。

2 防犯灯に係る補助金及び助成金交付

自治会が実施する防犯灯の整備に対し、「伊勢市防犯灯整備事業補助金交付要綱」及び「伊勢市防犯灯助成金交付要綱」に基づき補助金及び助成金を交付することにより、地域の防犯環境の整備を支援した。

- ・防犯灯新設 88灯（旧伊勢71灯、旧二見9灯、旧小俣1灯、旧御薮7灯）
- ・防犯灯修繕 2,089灯（旧伊勢1,533灯、旧二見189灯、旧小俣246灯、旧御薮121灯）
- ・LED取替 1,240灯（旧伊勢918灯、旧二見89灯、旧小俣179灯、旧御薮54灯）
- ・防犯灯電気代 12,845灯（旧伊勢9,375灯、旧二見823灯、旧小俣1,823灯、旧御薮824灯）

3 防犯パトロールの実施

児童・生徒に対して登下校時に発生している不審者による声かけ事案等からの被害防止を図るため、防犯パトロールを実施した。

内 容 市内全小中学校周辺及び不審者出没地域を重点に、下校時にあわせて青色回転灯装着車でパトロールを行った。

○ 危機管理関係

1 不当要求行為関係

不当要求防止責任者である各所属長を対象に研修を開催し、不当要求等に組織で対応すること等を指導した。また、三重県公安委員会による責任者講習会を受講させた。

開催年月日	内 容	対象者	参加人数
26. 5. 14	不当要求対応研修 平成26年度に所属長へ昇格した職員を対象に開催した。	新規所属長	10名
26. 10. 16	不当要求防止責任者講習会 三重県公安委員会による責任者講習会を受講した。	責任者講習会未受講の各部課長	15名

防 災 施 設 整 備 課

○ 避難所等整備事業

1 津波避難施設整備

津波の浸水が予測される避難困難地に津波避難施設関連の整備を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
村松町 地内	村松町津波避難施設屋根設置工事設計業務委託	屋根設置設計業務 一式	円 648,000	26. 4. 18	26. 8. 29
二見町西 地内	(注1) 二見町西津波避難施設用地測量業務委託	用地測量 0.32ha 基準点測量 6点 現地測量 一式	1,548,720	26. 8. 1	26. 9. 29
磯地 町内	(注2) 磯町津波避難施設測量業務委託	水準測量 一式 現地測量 一式	816,480	26. 8. 8	26.10. 6
一色町 地内	一色町津波避難施設新築工事設計業務委託	鉄筋コンクリート造 870㎡程度	4,475,520	26. 8. 8	27. 3. 10
有滝町 地内ほか	有滝町津波避難施設新築工事ほか設計業務委託	有滝町津波避難施設鉄筋コンクリート造 450㎡程度 明神ポンプ場外付避難階段	3,594,240	26. 8. 8	27. 3. 11
二見町西 地内	(注1) 二見町西津波避難施設用地地質調査業務委託	ボーリング工 1か所	2,758,320	26.10.31	26.12.19
磯地 町内	(注2)(注3) 磯町津波避難施設(マウンド)設計業務委託	造成実施(詳細)設計 一式 擁壁補強土予備設計・擁壁構造比較検討 1か所 重力式擁壁設計 一式 既設堤体の解析 一式 付帯建築物設計 一式 各種申請書作成 一式	11,722,320	26.11.28	27. 9. 30
二見町西 地内	(注1)(注3) 二見町西津波避難施設用地造成設計業務委託	造成実施(詳細)設計 一式 擁壁補強土予備設計 1か所 L型擁壁詳細設計 一式 スウェーデン式サウンディング 一式 各種申請書作成 一式	7,155,000	26.11.28	27. 6. 30
磯地 町内	(注2) 磯町津波避難施設用地地質調査業務委託	ボーリング工 2か所	4,524,120	26.11.28	27. 2. 20
計	9件	—	37,242,720	—	—

(注1) 下水道建設課施行

(注2) 農林水産課施行

(注3) 平成27年度へ繰越

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
大湊町 地内	大湊町津波避難施設 新築工事	津波避難施設 鉄筋コンクリート造3階建 建築面積 593.76 m ² 延べ面積 836.61 m ²	円 266,619,600	26. 7. 9	27. 3. 10
村松町 地内	村松町津波避難施設 屋根設置工事	屋根設置 一式	16,217,280	26. 11. 7	27. 3. 2
有滝町 地内	(注1) 有滝町津波避難施設 設用地造成工事	現場打ち擁壁 8m プレキャスト擁壁 66m 側溝工 46m 函渠工 5m 集水柵工 1か所	14,394,240	26. 11. 28	27. 3. 9
大湊町 地内	明神ポンプ場外付 避難階段等設置工事	外付避難階段設置 一式	21,728,520	26. 12. 19	27. 3. 13
一色町 地内	(注1)(注2) 一色町津波避難施設 設用地造成工事	現場打ち擁壁 29m プレキャスト擁壁 128m 側溝工 87m 集水柵工 2か所	28,603,800	26. 12. 19	27. 4. 15
大湊町 地内	(注1)(注2) 大湊町津波避難施設 設用地舗装工事	アスファルト舗装工 2,696 m ² 側溝工 12m 集水柵工 2基 照明設備工 4基 車止め工 9基	19,902,240	26. 12. 19	27. 4. 3
〃	(注1)(注2) 大湊町津波避難施設 設用地防火水槽設置 工事	耐震性防火貯水槽 (40 m ³) 1基	6,645,240	26. 12. 19	27. 4. 3
村松町 地内ほか	避難所看板設置 工事	避難所看板設置 3か所	885,600	27. 1. 19	27. 3. 11
二見町 今一色 地内	今一色小学校屋上 フェンス増設工事	フェンス設置 一式	1,557,360	27. 1. 23	27. 3. 4
計	9件	—	376,553,880	—	—

(注1) 基盤整備課施行

(注2) 平成27年度へ繰越

2 地震自動オープン錠付防災ボックスの設置

津波の浸水が予測されている地域の公共施設に対し、24時間いつでも建物内への避難が可能となるように、震度4以上の地震を感知した時に開錠する防災ボックス(錠ボックス)を設置した。

設置場所	金額
明神ポンプ場・伊勢市観光文化会館・いせ市民活動センター・二見老人福祉センター・二見公民館・ハートプラザみその・御菌第二保育園・御菌中学校・黒瀬市民館 (計9か所)	円 2,089,800

3 伊勢市津波対策事業検討業務委託

平成26年に三重県地震被害想定調査結果が公表されたことから、平成24年公表の津波浸水予測との比較検討を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内地	(注) 伊勢市津波対策事業検討業務委託	津波対策事業検討 一式	円 7,307,280	26. 7. 9	27. 3. 13

(注) 危機管理課へ執行委任

○ 防災センター新設事業

1 防災センター新設

地域防災力の向上を図るため、消防・防災に関する知識と技術を学べる防災センターの整備を開始した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
楠部町内地	(注1)(注2) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新設工事監理業務委託	消防・防災センター棟 鉄筋コンクリート造 4階建 免震構造 車庫・訓練棟 鉄骨造 4階建 耐震構造 延べ面積 5,956.62 m ²	円 (注3) 20,952,000	26. 7. 11	27. 12. 11

(注1) 消防総務課へ執行委任、建築住宅課施行

(注2) 平成26・27年度継続費

(注3) 防災センター分 7,142,000円

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
楠部町内地	(注1)(注2) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新設工事(建築工事)	消防・防災センター棟 鉄筋コンクリート造 4階建 免震構造 車庫・訓練棟 鉄骨造 4階建 耐震構造 延べ面積 5,956.62 m ² 建築工事 一式	円 (注3) 1,499,040,000	26. 7. 9	27. 11. 30

楠部町内	(注1)(注2) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新設工事 (電気設備工事)	消防・防災センター棟 鉄筋コンクリート造 4階建 免震構造 車庫・訓練棟 鉄骨造 4階建 耐震構造 延べ面積 5,956.62 m ² 電気設備工事 一式	円 (注4) 429,840,000	26. 7. 9	27. 11. 30
〃	(注1)(注2) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新設工事 (機械設備工事)	消防・防災センター棟 鉄筋コンクリート造 4階建 免震構造 車庫・訓練棟 鉄骨造 4階建 耐震構造 延べ面積 5,956.62 m ² 機械設備工事 一式	(注5) 356,400,000	26. 7. 9	27. 11. 30
計	3件	—	2,285,280,000	—	—

(注1) 消防総務課へ執行委任、建築住宅課施行

(注2) 平成26・27年度継続費

(注3) 防災センター分 436,562,000円

(注4) 防災センター分 130,645,000円

(注5) 防災センター分 114,937,000円